

## 令和5年度活動報告

令和5年度活動の〔A概要〕及び〔B詳細〕は次のとおり。

### A 概要

原子力事業所安全協力協定（以下「東海ノア協定」という。）令和5年度年間活動基本計画に基づき、①安全協力委員会及び活動推進幹事会の開催、②自主保安に係る点検協力活動、③安全教育に係る協力活動、④情報の交換等に係る協力活動を通じて、東海ノア協定加盟事業所の施設の安全確保と従業員の資質の向上を図るとともに、安全意識の高揚に努めた。

また、緊急事態発生時の協力要請に備え、⑤緊急事態を想定した協力活動訓練を行うとともに、協力体制を整備した。

（1）安全協力委員会は2回（令和5年10月、令和6年3月）開催した。

（2）活動推進幹事会は4回（令和5年6月、9月、12月、令和6年3月）開催した。

（3）自主保安に係る点検協力活動は、令和5年11月22日に、株式会社ジェー・シー・オー東海事業所を対象事業所として実施した。

東海ノア協定加盟全事業所の「安全管理及び保安管理」に役立てていただくため、7件の良好事例を東海ノア協定加盟全事業所に展開した。

（4）安全教育に係る協力活動では、「第1回安全教育」を令和5年10月3日に日本原子力研究開発機構原子力人材育成センターで、「第2回安全教育」を令和6年2月5日に日本原子力発電株式会社東海事業本部東海総合研修センターで開催した。

（5）安全教育に係る協力活動の「自衛消防隊研修会」は、台風13号が関東地方を直撃するとの予報を受けて、研修会参加者及び関係者の安全確保が困難であること並びに講師である消防本部員の所属消防本部での任務遂行に支障を来す恐れがあることから、研修会前日に中止と決定し、研修会テキストを自己研鑽に用いた。

（6）情報の交換等に係る協力活動では、東海ノア協定加盟事業所で発生した「火災等の事故、トラブル関連情報」が、発災事業所から東海ノア協定加盟全事業所に発信された。

（7）緊急事態を想定した協力活動訓練では、東海ノア協定加盟全事業所を対象とした茨城県通報連絡訓練での訓練想定に「東海ノア協定事務局への通報（協力要請）を実施する。」が含まれていた5回について、発災事業所から東海ノア協定事務局へ通報（協力要請）を行った。

また、そのうち1回に連動して、初動通報連絡及び東海ノア協定加盟全事業所から緊急事態協力活動本部への出勤者名簿のFAXを行う「東海ノア総合訓練」を実施した。

緊急事態協力活動本部要員等に変更が生じた都度、緊急事態協力活動本部要員登録者等を更新して、緊急事態発生時における協力体制を整備した。

- (8) 茨城県保健医療部保健政策課からの依頼に基づき、「緊急被ばく医療関連情報連絡会原子力事業所見学会（見学施設：日本原子力発電株式会社東海第二発電所）」の開催案内を東海ノア協定全加盟事業所に展開するとともに、東海ノア協定全加盟事業所からの参加者を取りまとめた。
- (9) 東海ノア協定ホームページを活用し、原子力事業所の安全協力協定に基づく活動を紹介した。

## B 詳細

### 1. 安全協力委員会の開催（2回）

- (1) 第49回安全協力委員会（オンライン会議）

【開催日】 令和5年10月25日（水）

【議題】

- 1) 第48回安全協力委員会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定 安全協力委員会委員等の交代について
- 3) 令和5年度上期活動状況報告及び下期活動計画（案）について
- 4) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究開発機構 放射線育種場の原子力事業所安全協力協定安全協力委員会オブザーバーの退会について
- 5) その他



第49回 委員会の様子

- (2) 第50回安全協力委員会（対面）

【開催日】 令和6年3月21日（木）

【議題】

- 1) 第49回安全協力委員会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定 安全協力委員会委員の変更について
- 3) 令和5年度活動報告について
- 4) 令和6年度年間活動基本計画（案）について
- 5) 任期満了に伴う安全協力委員会委員長及び副委員長の選出について
- 6) 任期満了に伴う活動推進幹事会幹事長及び副幹事長の選出結果について
- 7) その他



第50回 委員会の様子

## 2. 活動推進幹事会の開催（4回）

### （1）第103回活動推進幹事会（対面）

【開催日】 令和5年6月14日（水）

【議 題】

- 1) 第102回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定 安全協力委員会委員等の変更について
- 3) 令和5年度安全教育に係る協力活動について
- 4) 令和5年度情報の交換等に係る協力活動について
- 5) 令和5年度緊急事態を想定した協力活動訓練について
- 6) 協定加盟事業所からの事業所紹介について  
(三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター  
那珂エネルギー開発研究所)
- 7) その他



第103回 幹事会の様子

### （2）第104回活動推進幹事会（オンライン会議）

【開催日】 令和5年9月27日（水）

【議 題】

- 1) 第103回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定 安全協力委員会委員等の交代について
- 3) 令和5年度自主保安に係る点検協力活動計画（案）について
- 4) 令和5年度安全教育に係る協力活動について
- 5) 令和5年度情報の交換等に係る協力活動について
- 6) 令和5年度緊急事態を想定した協力活動訓練について
- 7) 令和5年度上期活動状況及び下期活動計画（案）について
- 8) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究開発機構 放射線育種場の原子力事業所安全協力協定安全協力委員会オブザーバーの退会について
- 9) その他



第104回 幹事会の様子

### （3）第105回活動推進幹事会（オンライン会議）

【開催日】 令和5年12月20日（水）

【議 題】

- 1) 第104回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定 緊急事態協力活動本部要員一覧の変更について
- 3) 令和5年度自主保安に係る点検協力活動について



第105回 幹事会の様子

- 4) 令和5年度安全教育に係る協力活動について
- 5) 令和5年度情報の交換等に係る協力活動について
- 6) 協定加盟事業所からの事業所紹介について  
(日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海発電所・東海第二発電所)
- 7) その他

#### (4) 第106回活動推進幹事会（オンライン会議）

【開催日】 令和6年3月4日（月）

【議 題】

- 1) 第105回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定 安全協力委員会委員等の変更について
- 3) 令和5年度安全教育に係る協力活動について
- 4) 令和5年度情報の交換等に係る協力活動について
- 5) 令和5年度緊急被ばく医療関連情報連絡会原子力事業所見学会への参加について
- 6) 令和5年度活動報告（案）について
- 7) 令和6年度年間活動基本計画（案）について
- 8) 任期満了に伴う安全協力委員会委員長及び副委員長並びに活動推進幹事会幹事長及び副幹事長の選出について
- 9) その他



第106回 幹事会の様子

### 3. 自主保安に係る点検協力活動

自主保安点検協力活動は、点検対象事業所に核燃料物質使用施設、放射性物質取扱施設等の安全担当実務者又は防火管理の実務担当者等から構成されたチームを派遣して、現場巡視、質疑応答、意見交換を行い、対象事業所における自主保安点検活動に第三者の立場から協力するものである。

そして、点検結果が対象事業所における安全管理及び保安管理に役立てられるとともに、良好事例等を他事業所へ紹介することにより、東海ノア協定加盟全事業所の安全管理及び保安管理にも役立つことを期待するものである。

【実施日】 令和5年11月22日（水）

【対象事業所】 株式会社ジェー・シー・オー東海事業所

【点検協力実施者】

- ・ 東京大学大学院工学系研究科原子力専攻
- ・ 公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター
- ・ 日本照射サービス株式会社 東海センター



点検協力活動の様子

## 【活動の概要】

最初に、株式会社ジェー・シー・オー東海事業所（以下「JCO」という。）の概要が説明された。内容は、「JCOの変遷」並びに現在の業務である「原子力施設の維持管理」及び「将来の廃止措置に向けた準備」であった。

その後、現場巡視及び点検シートに基づいた説明及び質疑・応答が行われ、①安全確保のための基本的考え方と方策、②安全文化醸成活動についての具体的な取組み、③緊急時の対応等について確認した。

今回の重点項目は、次のとおりであった。

- ・各種法令等の法令遵守状況の確認方法および実施状況について
- ・教育訓練としての事業所での実施状況および東海ノアおよび他事業所が実施する教育訓練への参加状況とその活用について
- ・緊急事態事象の想定、リスクマネジメントを活用して、想定される事態と緩和策等を記載したものや対応規程について
- ・日頃の緊急時の体制および夜間・休日に火災、地震等が発災した時の連絡体制および緊急作業団等について
- ・県内における原子力事業者での火災発生状況を踏まえた(株)ジェー・シー・オー東海事業者様の取組みについて

良好事例は、スケジュール順に、次のとおりであった。

- ①第一種放射線管理区域入口箇所への「緊急時連絡体制」及び「有資格者一覧」の掲示
- ②グリーンハウス入口への「作業毎保護具着用チェック表」の掲示
- ③錆及び損傷のないドラム缶でのウラン廃棄物等の整然とした保管管理
- ④屋外配管、サポート、建屋外壁の早めの補修又は塗装
- ⑤ドアの廊下側開閉範囲のマーキング
- ⑥海洋放出専用排水管（約8km）の厳格な維持管理
- ⑦協力会社との緊密なコミュニケーションに基づく整理整頓

## 4. 安全教育に係る協力活動

### （1）安全教育研修

協定加盟事業所の研修施設を活用して、協定加盟事業所従業員等の資質向上を図るための教育研修について、参加者を募り実施した。

#### 1) 令和5年度 第1回

【開催日】 令和5年10月3日（火）

【場 所】 日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センター

【参加者】 協定加盟8事業所から11名参加

【講 師】 日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センター講師

【研修カリキュラム】

（講義）① 原子力概論

## ② 原子力概論

### ③ 放射線の人体影響と放射線の防護

(実習) 簡易放射線測定器の取扱い及び各種放射線の測定  
研修後に実施したアンケートの結果は、次のとおりであった。

(a) 「カリキュラム」「1日コース」については、11人全員から「適当」との回答があった。

(b) 「講義内容」については、「原子力概論(後半)」及び「放射線の人体影響と放射線の防護」は11人全員から「適当」との回答があった。

一方、「原子力概論(前半)」は1人から「専門的過ぎる」との回答があった。

(c) 「原子力概論(後半)」については、「各プラントの違いや特徴なども聞いてみたかった。」との回答があった

(d) 「放射線の人体影響と放射線の防護」については、「テキスト以外の講師の方の意見が分かりやすかったので、もっと長く聞きたかった。」との回答があった。

(e) 「実習内容」については、1人から「専門的過ぎる」との回答があった。

(f) 「実習内容」については、「各グループに講師の方が最低一人ずついらっしやっただので、作業の不明な部分などをすぐ聞けてとても助かった。」との回答があった。

一方、「実際に測定器を見ながら『実習テキスト』を読んで、使用方法をレクチャーしていただきたかった。」「普段測定器などを扱った仕事をしていないので、みんなが当たり前に分かっている用語なども初めは理解するのが大変だった。」との回答があった。

(g) 「本日の研修」については、11人全員から「有効であった」との回答があった。

(h) 「本研修についての意見、要望等」については、「今後業務を行っていく上で、とても良い勉強になった。」「日頃あまり接することのない放射線管理の知識について習得する良い機会となった。」「原子力の概要や放射線の人体への影響などについての話しを聞くことができ、大変勉強になった。」「初心者なのに手厚くサポートして頂きまして、ありがとうございました。」「講師の講義が聞き取りやすかった。」との回答があった。

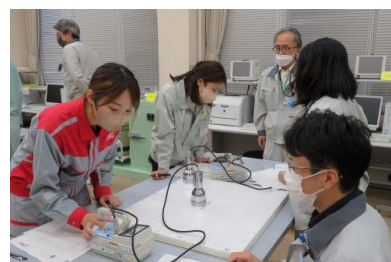
一方、「構内の交通ルールなどが分からず、研修棟になかなかたどり着くことが出来ず大変だった。事前にもう少し詳しい案内が欲しい。」との回答があった。



講 義



実 習



実 習

## 2) 令和5年度 第2回

【開催日】 令和6年2月5日（月）

【場 所】 日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海総合研修センター

【受講者】 協定加盟4事業所の6名

【講 師】 日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海総合研修センター講師  
東海・東海第二発電所 総務室 渉外・報道グループ 講師

【研修カリキュラム】

（講話）東海第二発電所の近況について

（実習）①身の回りの放射線測定体験

②シミュレータによる運転体験

（見学）東海第二発電所フルスコープシミュレータ見学

研修後に実施したアンケートの結果は、次のとおりであった。

東海第二発電所の近況については、「安全性向上対策工事等の近況を知り勉強になった。」、「再稼働に向けて、安全対策のための工事を進めていることを理解できた。」、「福一の事象を受け、津波や地震に対しての深層防護が徹底されていると感じた。」、「安全性向上対策工事について、わかりやすい資料・説明であった。」等の意見があった。

身の周りの放射線測定実習については、「実際に体験できることは参考になった。」との意見があった。

シミュレータ運転体験及びフルスコープシミュレータ見学については、「原子炉を実際にどう制御しているのかを体験することができた。」、「シミュレータを操作対応している様子（運転員の訓練等）を見てみたい。」、「はじめて他のプラントのシミュレータを見学することができたので非常に参考となった。」等の意見があった。

カリキュラムや日程を含め研修全般にわたり、「フルスコープシミュレータは、臨場感があり勉強になった。」、「シミュレータについての時間が短いので体験できる時間を増やして欲しい。」、「とても勉強になりました。私自身東海村で育ててきたため、JCOの時や震災の時など、こういうことが起っていたんだと大変良くわかりました。」等の意見をいただき、大変好評であった。



講 話



実 習



実 習

## （2）講演会等の開催

開催はなかった。

### (3) 自衛消防隊研修会の開催

台風13号が関東地方を直撃するとの予報を受けて、研修会参加者及び関係者の安全確保が困難であること並びに講師である消防本部員の所属消防本部での任務遂行に支障を来す恐れがあることから、研修会前日に中止と決定し、研修会テキストを自己研鑽に用いた。

予定されていた研修は次のとおりであった。

【開催日】 令和5年9月8日（金）

【場 所】 茨城県立消防学校

【講師・指導員】

① 講 師 4消防本部 8名

（ひたちなか・東海広域事務組合消防本部、那珂市消防本部、大洗町消防本部、鹿行広域事務組合消防本部）

② 指導員 4事業所 5名

（日本原子力研究開発機構原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所大洗研究所、日本原子力発電(株)）

【参加者】 協定加盟10事業所から18名参加

【座 学】

① 自衛消防に関する事項（消防概論）

【要素訓練】

① 空気呼吸器等の装着訓練

② 屋内消火栓の取扱要領（ホース延長・収納時の操作）

③ 消防車からの放水・吸水訓練

【総合訓練】

指揮隊（含支援隊）、消火隊、救助隊に分かれて、実放水を含む消火・救出訓練（想定：平屋事務所より出火、延焼中。職員2名逃げ遅れ。）

## 5. 安全管理に係る情報の交換等に係る協力活動

### (1) 情報交換する項目

1) 法令報告事象などプレス発表された事故、トラブル情報

情報の発信元となる事業所から加盟事業所に発信された情報を以下に示す。

「原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定（以下「原子力安全協定」という。）に基づき発信された情報は『原子力安全協定に基づく』と記載した。

① 公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター

(a) 令和5年2月13日に発生した延長コードコンセントの焦げ跡の発見について

・『原子力安全協定に基づく』「延長コードコンセントの焦げ跡の発見について（最終報）」が、5月8日に配信された。



② 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所

(a) 令和5年4月10日に発生した火災について

- ・「核燃料サイクル工学研究所駐車場における自家用車両火災について」が、4月10日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「核燃料サイクル工学研究所における自家用車両火災について（第1報）」が、4月21日に配信された。

(b) 令和6年2月16日に発生した「核燃料サイクル工学研究所における空調機の火災」について

- ・「核燃料サイクル工学研究所における空調機の火災について」が、2月16日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「核燃料サイクル工学研究所 個人被ばく管理棟における火災について（第1報）」が、2月27日に配信された。

③ 三菱原子燃料株式会社 東海工場

(a) 令和5年4月12日に発生した焦げ跡発見について

- ・「技術センター棟社員食堂におけるコンセントプラグでの焦げ跡発見について」が、4月13日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「厨房コンセントでの焦げ跡発見について（第1報）」が、4月20日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「厨房コンセントでの焦げ跡発見について（第2報）」が、8月18日に配信された。

④ 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

(a) 令和5年4月25日にJ-PARCセンターにおいて発生した火災について

- ・「J-PARC MR第2電源棟における火災発生について」が、4月25日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「J-PARC MR第2電源棟における火災発生について（第1報）」が、5月8日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「J-PARC MR第2電源棟における火災発生について（第2報）」が、6月9日に配信された。

(b) 令和5年6月22日に発生した、J-PARCハドロン棟電源棟における火災について

- ・「J-PARCハドロン棟電源棟における火災について」が、6月22日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「J-PARCハドロン棟電源棟における火災発生について（第1報）」が、6月30日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「J-PARCハドロン電源棟における火災発生について（第2報）」が、10月26日に配信された。

⑤ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所

(a) 令和5年7月19日に発生したサービス建屋ランドリー室乾燥機制御盤内端子台の焦げ跡の確認について

- 「東海第二発電所サービス建屋ランドリー室乾燥機制御盤内端子台の焦げ跡の確認について」が、7月20日に配信された。
- 『原子力安全協定に基づく』「東海第二発電所 サービス建屋 1階 ランドリー 室 乾燥機No.7制御盤内端子台の焦げ跡について（第1報）」が、7月28日に配信された。
- 『原子力安全協定に基づく』「東海第二発電所 サービス建屋 1階 ランドリー 室 乾燥機No.7制御盤内端子台の焦げ跡について（第2報）」が、8月31日に配信された。

(b) 令和5年10月31日に発生した「東海第二発電所 原子炉建屋2階北東側天井照明安定器の焦げ跡の確認」について

- 「東海第二発電所 原子炉建屋2階北東側天井照明安定器の焦げ跡の確認について」が、10月31日に配信された。
- 『原子力安全協定に基づく』「東海第二発電所 原子炉建屋2階北東側天井照明安定器の焦げ跡の確認について（第1報）」が、11月9日に配信された。

(c) 令和5年11月7日に発生した「東海第二発電所 モルタル建屋1階 空気圧縮機からの発煙」について

- 「東海第二発電所 モルタル建屋1階 空気圧縮機からの発煙について」が、11月8日に配信された。
- 『原子力安全協定に基づく』「東海第二発電所 モルタル建屋1階 空気圧縮機からの発煙について（第1報）」が、11月17日に配信された。

(d) 令和5年11月9日に発生した「東海第二発電所 屋外照明用ブレーカーからの火花の確認」について

- 「東海第二発電所 屋外照明用ブレーカーからの火花の確認について」が、11月10日に配信された。
- 『原子力安全協定に基づく』「東海第二発電所 屋外照明用ブレーカーからの火花の確認について（第1報）」が、11月17日に配信された。

(e) 令和6年2月2日に発生した「東海第二発電所 原子炉建屋2階北西側天井部電線管付近の火花及び焦げ跡らしきものの確認」について

- 「東海第二発電所 原子炉建屋2階北西側天井部電線管付近の火花及び焦げ跡らしきものの確認」についてが、2月5日に配信された。
- 『原子力安全協定に基づく』「東海第二発電所 原子炉建屋2階北西側天井部電線管付近の火花及び焦げ跡らしきものの確認について（第1報）」が、2月16日に配信された。

⑥ 日本核燃料開発株式会社

(a) 日本核燃料開発株式会社が令和5年7月20日に事象を把握した「不適切なセル負圧警報計器等点検」及び7月27日に事象を把握した「不適切な放射性廃液タンク等点検」について

- ・「不適切なセル負圧警報計器等点検/放射性廃液タンク等点検について（中間報告要旨）」が、10月12日に配信された。

(b) 令和6年3月15日に発生した「材料研究棟 精密測定室における火災」について

- ・「日本核燃料開発株式会社 材料研究棟 精密測定室における火災について」が、3月16日に配信された。

⑦ 積水メディカル株式会社 創薬支援センター

(a) 令和4年8月4日に発見された「積水メディカル株式会社創薬支援センター第一実験棟床下配管（管理区域外）の破断（2箇所）」について

- ・令和5年10月5日に開催された茨城県原子力安全対策委員会において終結として説明された「積水メディカル株式会社における放射性同位元素の管理区域外への漏えいについて」が、10月5日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「積水メディカル株式会社における放射性同位元素の管理区域外への漏えいについて（第2報）」が、11月22日に配信された。

⑧ 株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所

(a) 令和5年10月17日に発生した「火災」について

- ・「第2管理棟205室（第1種管理区域）における火災の発生ならびに鎮火について」が、10月18日に配信された。
- ・『原子力安全協定に基づく』「電源盤内コンセントプラグにおける焦げ跡の発見について（第1報）」が、10月31日に配信された。

(2) 各事業所の判断で情報交換するもの

1) フォーラムの開催等安全管理上有益な情報（加盟事業所が参加可能なもの）  
情報提供はなかった。

2) 緊急時を想定した訓練に係る情報（加盟事業所が視察可能なもの）

① 原子力事業所安全協力協定加盟事業所原子力防災訓練見学会

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

（原子力科学研究所・大洗研究所・日本核燃料開発株式会社同時発災）

【開催日】 令和6年1月19日（金）

【参加者】 協定加盟3事業所から3名参加

### 【事故想定】

地震（東海村：震度6弱、大洗町及び銚田市：震度6弱）発生を起点として、原子力科学研究所では施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害、大洗研究所では施設敷地緊急事態が発生することを想定した訓練が行われた。



緊急時対策所



負傷者の搬送



模擬プレス発表

### ② 原子力事業所安全協力協定加盟事業所原子力防災訓練見学会

日本原子力研究開発機構 大洗研究所

（大洗研究所・原子力科学研究所・日本核燃料開発株式会社同時発災）

【開催日】 令和6年1月19日（金）

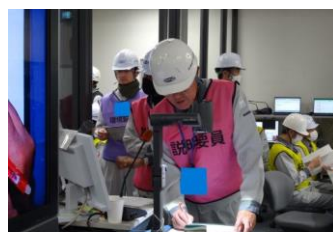
【参加者】 協定加盟2事業所から2名参加

### 【事故想定】

地震（大洗町及び銚田市：震度6弱、東海村：震度6弱）発生を起点として、大洗研究所では施設敷地緊急事態、原子力科学研究所では施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害が発生することを想定した訓練が行われた。



緊急時対策所



書画カメラを用いた説明

### ③ 原子力事業所安全協力協定加盟事業所原子力防災訓練見学会

日本原子力発電株式会社 東海発電所・東海第二発電所

（東海発電所・東海第二発電所、核燃料サイクル工学研究所同時発災）

【開催日】 令和6年2月13日（火）

【参加者】 協定加盟6事業所から6名参加

### 【事故想定】

新規制基準適合後、通常運転（定格熱出力一定運転）状態を模擬した東海第二発電所にて、地震を起因とした外部電源喪失事象から発生したトラブル、原子炉隔離時冷却系の異常に対する戦略検討及びその対応を主に、原子力災害対策特別措置法

第15条事象に至る原子力災害とともに、廃止措置中の東海発電所において、警戒事態該当事象に至る原子力災害等を想定した訓練が行われた。



発電所対策本部の状況



自衛消防隊現場指揮本部



東1負傷者の救護・搬送

3) 安全管理に有用な情報  
情報提供はなかった。

## 6. 緊急事態を想定した協力活動訓練

### (1) 訓練

東海ノア協定に基づく令和5年度の通報連絡を主体とした総合訓練は、7月20日(木)に三菱マテリアル株式会社エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所を発災事業所として実施した。

協力要請を全加盟事業所に通報連絡、東海地区活動本部要員を東海地区活動本部に模擬出動、大洗地区活動本部要員を二次招集として、総合訓練シナリオに基づき、通報連絡を主体とした訓練を実施した。

通報連絡系統に基づく連絡が迅速に行われ、関係者への通報連絡及び緊急事態協力活動本部要員の招集に問題ないことを確認した。

### (2) 緊急事態発生時における協力体制の整備

緊急事態協力活動本部要員等に変更が生じた都度、緊急事態協力活動本部要員登録者等の更新を行った。

## 7. その他(県等からの協力依頼)

### (1) 令和5年度茨城県通報連絡訓練

【訓練実施期間】 令和5年7月13日(木)～9月13日(水)(実績)

【東海ノア協定事務局への通報】 5事業所

【対応結果報告】 令和5年9月19日(火)に県へ送信

### (2) 令和5年度緊急被ばく医療関連情報連絡会原子力事業所見学会

【開催日】 令和6年1月11日(木)

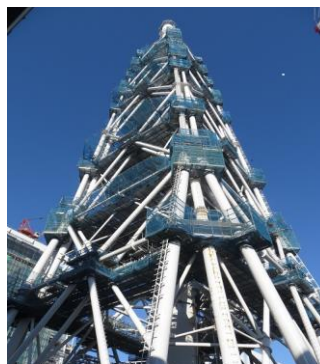
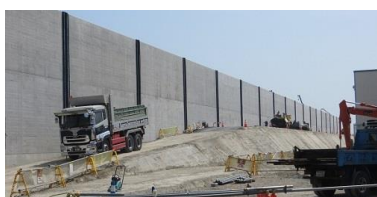
【施設】 日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海第二発電所

【参加者】 協定加盟事業所からは 21名/8事業所

【見学内容】

発電所幹部挨拶の後、2班に分かれ、一班は社有バス内から東海第二発電所構内の現場工事の実施状況を、もう一班は原子力館屋上へ移動し発電所全景を入れ替りで視察した。

現場視察は、発電所の主要施設（東海第二発電所・東海発電所（廃止措置工事中）・ドライカスク建屋等）、防潮堤設置工事、常設代替高圧電源装置置場設置工事、主排気筒耐震補強工事などを、発電所所員からの説明を交えて約40分程度かけて順次巡った。その後、原子力館に戻り、屋上から発電所の全景及び緊急時対策所建屋工事を視察し、最後に質疑応答等が行われた。



防潮堤設置工事の状況

常設代替高圧電源装置置場設置工事の状況

主排気筒耐震補強工事の状況

(掲載写真は原電より提供)

## 8. 広報活動

### (1) ホームページの維持管理

ホームページ情報の維持管理に努め、東海ノア協定に基づく活動状況を紹介した。

#### 1) ホームページの更新

- ① 令和5年6月30日
- ② 令和5年9月29日
- ③ 令和5年12月27日
- ④ 令和6年3月27日

以上

令和5年度 年間活動基本計画実績表（原子力事業所安全協定運営要項第2条第1項に基づく）

	令和5年									令和6年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1. 安全協力委員会							▲10/25 第49回			第50回 3/21▲					
2. 活動推進幹事会	▲6/14 第103回			▲9/27 第104回			▲12/20 第105回			第106回 ▲3/4					
3. 自主保安に係る点検協力活動										▲11/22 JCO					
4. 安全教育に係る協力活動 (1) 安全教育研修 (2) 講演会・講習会 (3) 自衛消防隊研修	▲6/15 県立消防学校及び4消防本部協力依頼 ▲9/8 自衛消防隊研修(消防学校) 中止 テキストで自己研鑽									▲10/3 第1回(原子力機構) 原子力人材育成センター  ▲2/5 第2回(原電) 総合研修センター					
5. 情報の交換等に係る協力活動 (1) 情報交換する項目 ・事故・トラブル情報 (プレス情報発信等)  (2) 事業所判断での情報交換 ・参加可能なフォーラム等 ・視察可能な訓練 ・安全管理に有用な情報	▲4/10 核サ研 ▲6/9 原科研 ▲4/13 三菱原燃 ▲6/22 原科研 ▲4/20 三菱原燃 ▲6/30 原科研 ▲4/21 核サ研 ▲7/20 原電 ▲4/25 原科研 ▲7/28 原電 ▲5/8 核管センター ▲8/18 三菱原燃 ▲5/8 原科研 ▲8/31 原電									▲10/5 積水 ▲11/9 原電 ▲10/12 日本核燃 ▲11/10 原電 ▲10/18 JCO ▲11/17 原電 ▲10/26 原科研 ▲11/17 原電 ▲10/31 原電 ▲11/22 積水 ▲10/31 JCO ▲11/8 原電			▲2/5 原電 ▲2/16 核サ研 ▲2/16 原電 日本核燃 3/16▲  ▲1/19 原科研、大洗研 ▲2/13 原電		
6. 緊急事態を想定した協力活動 (1) 訓練 (2) 協力体制の整備	▲7/20 東海ノア総合訓練 (発災事業所：三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター 那珂エネルギー開発研究所) (茨城県通報連絡訓練に連動して、通報連絡、招集(模擬)を実施)														
	本部要員・連絡担当者等 随時見直し														
7. その他(県等からの協力依頼)							茨城県通報連絡訓練 訓練期間(実績) 7/13~9/13 ▲9/19 茨城県通報連絡訓練対応結果報告を 茨城県に送信			▲1/11 緊急被ばく医療関連情報 連絡会原子力事業所見学会(原電)					
8. 広報活動(ホームページ運営)	▲6/30			▲9/29			▲12/27			3/27▲					